

2022年(令和4年)

4月8日
金曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561

名古屋市中村区
名駅4-4-10
編集局 052(561)5212
読者開局 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
©中部経済新聞社2022



●岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通
1-12
岐阜中日ビル8階
電話 058(266)7576
FAX 058(262)6571

●東濃支局
多治見市上野町
1-75
日映マンション
Ⅲ602
電話、FAX兼用
0572(23)7812

●西濃支局
大垣市室本町2の
39竹中ビル203号
電話、FAX兼用
0584(75)1289

HPで「バーチャル工場見学」

若手社員で構成する制作チームのメンバー



健康食品を受託生産 中日本カプセル

同社は工場に見学コースを
設け、取引先や新規参入を計
画する企業などの見学を積極



山中利恭社長

(西濃・春田昭継)

サブコメントなど健康食品を受託生産する中日本カプセル(本社大垣市荒尾町2-9の2、山中利恭社長、電話0584・93・1013)は、同社の製造現場や独自技術を動画で分かりやすく紹介する「バーチャル工場見学」をホームページ(HP)に掲載した。動画は20代を中心とした若手社員がチームをつくり、約1年をかけて制作した。チームリーダーの上村啓太営業部長は「特に健康食品に参入しようという業者に向けて、見せ方などを工夫した」と話している。

若手チームが動画制作／製造現場と独自技術紹介

的に受け入れてきた。ただ、コロナ禍で工場見学の実施が難しくなったことから、若手社員の発案で、実際に足を運ばなくても製造現場や特許を有する独自技術を理解してもらえる動画を制作することにした。

チームには営業部、開発部、品質保証部から7人が自発的に参加。ほとんどが20代後半の社員で、通常業務の合間を利用して、台本作りや撮影などの作業を進めてきた。

完成した動画は「バーチャル工場見学」が①クリーンな製造環境②ソフトカプセルの製造現場③ハードカプセルの製造現場④包装加工の現場⑤の4本、「独自技術」が冒で溶けずに腸まで届く「ISカプセル」や、ガムのように噛んで服用する「ガムセル」など特許技術5本の計9本。

いずれの動画も、実写にイラストを入れて解説したり、工場見学では見ることのできない部分をクローズアップするなどして、「バーチャルならではの分かりやすさ」を追求した(上村リーダー)。音声は日本語のみだが、同社はベトナムでも事業を拡大していることから今後、ベトナム語版と英語版も加える計画だ。

山中社長は「動画は若い感性で仕上がっている。これからも若い社員たちの挑戦に期待したい」と話している。